

製品名: カドヘリン 8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07836**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	CDH8
別名	CDH8; Cadherin-8
遺伝子 ID	1006.0
SwissProt ID	P55286
免疫原	抗血清はヒト CDH8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540

背景

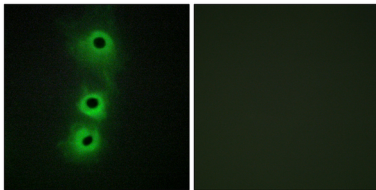
この遺伝子は、カルシウム依存性細胞間接着を媒介する膜貫通タンパク質であるカドヘリンスーパーファミリーに属するタイプ II 古典的カドヘリンをコードしています。成熟カドヘリンタンパク質は、大きな N 末端細胞外ドメイン、単一の膜貫通ドメイン、および

小型で高度に保存された C 末端細胞質ドメインで構成されています。細胞外ドメインは 5 つのサブドメインで構成され、それぞれがカドヘリンモチーフを含み、タンパク質の同種親和性細胞接着活性の特異性を決定していると考えられます。タイプ II (非定型) カドヘリンは、タイプ I カドヘリンに特異的な HAV 細胞接着認識配列を欠くことで定義されます。この特定のカドヘリンは脳で発現し、シナプス接着、軸索伸展および誘導に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞同士を接着する際に、カドヘリンは優先的に同種親和性に相互作用します。このように、カドヘリンは異種細胞の選別に寄与している可能性がある。、類似性: 5 つのカドヘリンドメインを含む。、組織特異性: 主に脳で発現する。網膜芽細胞、神経膠腫細胞、神経芽細胞などの特定の神経細胞株に見られる。、

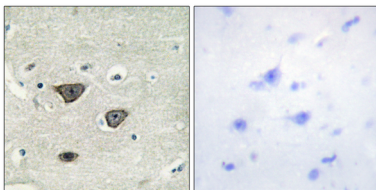
研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

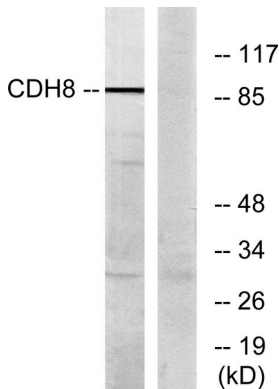
画像データ



CDH8 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CDH8 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CDH8 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。

カドヘリン 8 ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析

